

或る高校での学校巡演

新年明けましてお目出度う御座います。旧年中は種々お世話になりました。本年も相変わらずの御厚情をよろしくお願ひ申し上げます。

昨年の秋、東京都立白鷗高校で義太夫協会の学校巡演を行った。この高校は東京都台東区にあり、戦前には府立第一高女と言っていた名門高校で、昨年立派に改築された。この音楽の先生は野口啓吉先生といつて私の仕事なども手伝ってくれていて親しい仲である。その先生から生徒に一度義太夫節を鑑賞させて欲しいと前から頼まれていたのだが、校舎の改築などでつい延々になっていた。生

徒の数は男女合わせて千二百名ほど、一般的に考えれば、この年頃の若い人達を講堂に集めて義太夫節を鑑賞させるのは難しいことである。協会事務局でも色々と今までの例などを参考にして、わかりやすく飽きないようになると、西川古柳さん親子の車人形なども入れてプログラムを組んだ。

時刻になると、男女の生徒たちは続々と広い講堂に集まって来た。熱気でムンムンするほどである。国語の先生が司会をし、幕が上がる音楽だけで「太棹メドレー」として若手の人達で堀川の猿回しと野崎村が演奏された。始まる前には隣と話したりざわめきが相

義太夫協会会长 田辺秀雄

# 義太夫

義太夫協会会報  
第52号

平成4年1月1日  
社団法人 義太夫協会発行  
〒104 東京都中央区銀座  
6-18-2 新橋演舞場B2  
TEL (3541)5471

当聞こえていたのに、一遍に静まりしかもそれは終るまで続いた。

次の西川さんの話も熱心に聞かれ、私の話もそうで、二人とも十分の予定が入った為か、倍に伸びてしまった。いよいよ竹本朝重さんや、車人形の西川さん達の「日高川」になった。私は客席に行き、校長先生と並んで生徒達に囲まれて聴くことにした。生徒達は大変関心を持ったようで、体を乗り出して鑑賞しているほどだった。

学校で授業の一つだから静かに聴くのは当然だと言われる方もあるでしょうが、それは昔の学校のことと、今では中々言うことを聞くものではない。特に高校あたりは一番難しい所であろう。語りなどは初めてでは理解し難いものであることは私も経験している。

実はこれにはどうも理由があったようである。それはこの学校の特色の一つに音楽教育がある。こここの広い音楽教室をのぞくと驚くことには、両側の壁に九十挺の三味線が掛けられている。ここでは普通の洋楽教育の他に、三味線を教え大きい成果を挙げている。野口先生は長唄や民謡など生徒達に弾かせ、それが東京の公立学校の中では有名で数々の賞などとっている。だから普段でも邦楽を抵抗無く受け入れることが出来るのである。洋楽と邦楽では簡単には言い切れない沢山の違いがある。彼等は頭だけでなく体でもそれを知っているのであろう。邦楽を人々に普及する一番の近道はやはり学校教育にあるのだと、この時ほど強く知ったことはない。

# 賀春 ひとくち年賀状

あけましておめでとうございます。  
メモと鉛筆を手に楽屋でひとつことづつ聞きました。 (編集部)



息(生き)のよい義太夫が語れるようになりたい!

竹本 越孝(いて)座

国立演芸場に居を移して三年目、花も実もある女義の舞台をめざして、今年も一步を踏みしめます。

竹本 朝重(みずがめ座)

新春のお慶びを申し上げます。  
今年の目標は、一日百歩・・・

竹本 越道(みずがめ座)

一年たつのって早いですね。相変らずですが今年もどうぞよろしく。

竹本 綾一(てんびん座)

今年はブー太郎です。仕事下さい。

竹本 越若(みずがめ座)

年賀状ですか? ウーン困ったナア、どうしましうう・・・ホントニ今年もよろしくお願ひいたします。

竹本 綾貴世(やぎ)座

今年も素直さを忘れずやりたいと思います。  
どうぞよろしくお願ひいたします。

竹本 駒国(いて)座

協会の良い年でありますように。若い方たちに大いに頑張って貰いましょう。

竹本綾之助(うお座)

今年も新たな気持でがんばります。  
どうぞよろしくお願ひいたします。

竹本 駒輝(やぎ)座



燃える恋がしてみたい!  
夢見るおばさん、竹本華昇。

竹本 華昇(うお座)

皆様方の御協力のもとに、微力ながら協会発展のお手伝いをさせて頂きます。本年も何卒よろしくお願い申上げます。

竹本駒之助(おとめ座)

サルものは追わず?

竹本 越京(しき)座

今年は目の手術をすることになるかもしませんが、手術といつても日帰りできる位のものらしいので、頑張ります。

竹本 駒龍(かに)座

今年は特に何事も体が大事。

竹本土佐恵(いて)座

新年おめでとうございます。亀のようゆっくりと山道を歩み続けてゆきたいと思います。

竹本土佐子(さそり)座

皆様、新年おめでとうございます。

長い間、舞台をお休みいたしまして申し訳ございません。今の時代は、昔を問われる古き時代の語りを知らなければと。よきことに協会の皆様方も研究し、一生懸命芸を大事にして下さい。

竹本土佐廣(かに)座

(1992.1.1)

義太夫協会会報 第52号

今年も頑張りますからネッ。

皆様よろしくお願ひ申しあげます。

御無沙汰して申し訳ありません。

竹本 素八（みずがめ座）

本年からよろしくお願ひ申しあげます。

一生懸命勉強させていただきます。

竹本 弥栄（てんびん座）

本年も一生懸命つとめさせて頂きますので  
よろしく御指導お願ひいたします。

竹本佳之助（し し 座）

ひたむきに地道にやっています。

鶴澤 寛也（さそり座）

駒登久師匠のよう人に間性の立派な三味線  
ひきになりたいです。

鶴澤 駒治（みずがめ座）

腰や膝や、あちこち痛いことは痛いけれど  
私でお役に立つならば・・・今年もどうぞ  
御ひいきに。

鶴澤 駒登久（おとめ座）

今年は体に充分気をつけて無理せずやって  
いきます。

鶴澤 重輝（ふたご座）

何とか一年もちました。今年もどうぞよろ  
しくお願ひいたします。

鶴澤寿々方（う お 座）

これを読んで下さっている皆様と私に、い  
い事がありますように。

鶴澤津賀寿（し し 座）

新しい旅立ちの年にしたい!!ルルルルル  
鶴澤 悠美（う お 座）

魅力ある義太夫に一步でも近づきたいと思  
います。個々の力を寄せ集めて女流義太夫  
の意気をあげましょう。

豊澤 幸治（おとめ座）

病気を早く治して皆様とお会いしたいです。

野澤 錦輝（や ぎ 座）

駒登久師匠のよう人に間性の立派な三味線  
ひきになりたいです。

鶴澤 駒治（みずがめ座）

腰や膝や、あちこち痛いことは痛いけれど  
私でお役に立つならば・・・今年もどうぞ  
御ひいきに。

鶴澤 駒登久（おとめ座）

今年は体に充分気をつけて無理せずやって  
いきます。

御参考までに…

おひつじ座 正義感が強く、情熱家。でも、  
いじっぱりの面もある。

おうし座 自分のベースでのんびり屋。内面  
はガンコで責任感が強い。

ふたご座 社交家で好奇心旺盛な一面、集中  
力が足りない。

かに座 世話好きで、相手の気持ちにとても敏  
感。ロマンチックな一面もある。

しし座 目立ちたがりでプライドが高いが、  
とても楽天家。割と単純な面もある。

おとめ座 凡帳面で手先が器用。一見おとな  
しそうだが実は強情。

てんびん座 おしゃれ上手であっさりした面  
を持つ。でも八方美人といわれることも。

さそり座 とても用心深い。みんなの縁の下  
の力持ち的な存在。

やぎ座 何でも興味をもちサラリとこなして  
しまうが、あきっぽく、自分勝手なところもある。

ひつじ座 ひとつのことをコツコツやっていく  
慎重派。ちょっと自分に甘い面も。

みずがめ座 新しいことが大好き。個性的だ  
が、理想ばかり追及してもダメ。

うお座 人情家でお人好、素直なので気分が  
すぐ顔に出てしまう。

（題字 田坂州代）



# 古 太 夫 さ ん の こ と

相談役 豊澤 猿三郎

新年おめでとうございます。

九十四回も門松をくぐらせていただきます  
と、体にガタがきて思うようになります。  
どちら様へも御無沙汰しておわび申し上げま  
す。

今から七十数年前、現在の有楽座の所に立  
派な西洋料理（レストラン）マンハッタンと  
いうのがございました。主人は六尺以上の混  
血児で、ちょうど今の曙門のような人でした。  
大きな声を出すのが本当の義太夫と心得てる  
考え方違ひの方でした。昼食のお客がすむとそ  
の時分、日本橋の浜町に稽古場を開いて稽古  
をしていられる三代目團平師匠（植殖）の所  
へ自家用自動車（マイカー）でとんで行きました。  
（註・山石さんは若太夫と自称していました  
が、大阪で若太夫は許しませんので、古太夫  
と自分で改称して文楽の番付に一度だけ載っ  
てています。）

東京へ帰ってきた時は、私は横須賀重砲聯  
隊へ入営していましたので存じません。大正  
十年、私が除隊してきた時は、マンハッタン  
も山石さんもいませんでした。

山石さんの病が昂じて大阪の人達に僕の声  
を聞かせたいから、文楽へ出してくれとせが  
んで聞きました。團平師も困って大阪の友人  
へ紹介して内弟子にしてもらいました。その

太夫さんも、拭き掃除はしてくれる、使い走  
りはする、師匠のお供で文楽へは行く、東京  
のマンハッタンからは相当の飯料はとどく、

太夫さんは大喜びです。何年かたって、やつ  
と役がつきました。それも御簾内で、語る所  
は何秒です。さすがに情けなくなつて東京へ  
帰りました。

（註・山石さんは若太夫と自称していました  
が、大阪で若太夫は許しませんので、古太夫  
と自分で改称して文楽の番付に一度だけ載っ  
ています。）

「夜の部」御所桜堀川夜討 竹本 素八  
弁慶上使の段 鶴澤 駒登久

義太夫・清元・古曲・新内・常磐津・長唄  
三曲それぞれの名曲を特別料金で  
義太夫は

今日はそんなバカ声を出す人もいません。  
現在、四月と十月、藏前の白鳥会館へ出演の  
素義さんも皆さんお静かで静かすぎるくらい  
です。初波奈さんは九十才と伺いましたが、  
舞台で懸命にお語りになつていらざると、お  
顔が紅潮して三十才お若く見えます。これも  
義太夫の長寿法かとお喜び申し上げます。松  
尾先生はかならず語る時間を二十分でお切り  
になる、これは出来そうでなかなか出来ない  
事です。では今回はこれまで、チヨン。

## '92 都民芸術フェスティバル

### 第22回邦楽演奏会

平成4年3月6日(金)

朝日生命ホール(新宿駅西口)

「夜の部」雲雀山古跡の松 竹本駒之助  
中将姫雪責の段 鶴澤重輝  
鶴澤 悠美

(後日詳報)

## 五世豊澤猿之助

### 恩師の思い出

野澤 吉平

新年明けましておめでとうございます。いつも猿三郎兄さんがいろいろ書かれ、私は読ませていただきおりましたが、この度は私にも何か書けとのことですので、恩師の思い出を少し書かせていただきます。

私は、父が三味線弾きだったため、十二才で自然にこの道に入りました。父・勝助は私を、自分の師匠である鶴澤円斎師に入門させました。円斎師は深川常盤町に住み、当時義太夫因会頭取でした。近所に深川亭とか金車亭なんて寄席があるところでした。

十七才の時、因会で初舞台を踏むことになりました。浅草の並木俱楽部です。その時、五世豊澤猿之助師が「おれが稽古してやるから」との有難いお話で、「草履打」を稽古して頂きました。それが御縁で預り弟子にして頂きました。

十八才、師匠一座で新潟から新津、長岡、三条、松井田まで、ひと月ほど巡業があり、私もお供させて頂きました。師匠は津賀太夫師を、猿三郎兄はさの太夫師を、團七兄は巴太夫兄を、私は朝瀬太夫兄（後歌舞伎に入り扇太夫）を弾きました。お客様はいっぱいの入ります。巡業が終ったら、私は東京で「椎の

木」を弾くことになっていたのですが、新潟在住のお弟子の猿左衛門様宅で、師匠直々の稽古をして頂きました。

この巡業途中、猿三郎兄が帰る事になり、私が代わって「堀川」のツレ弾きをする事になつて、合間に稽古して頂いた御恩は決して忘れません。興業は夜ですから、昼はあいているのです。どうやら無事に出来、師匠からよく出来たと、初めて御褒美を頂きましたが、これは帰つてから神棚に上げました。「堀川」の時、ツレ弾きの心構え、舞台の事、色々とお話しして頂きました。師匠の隣で、膝に置いた手をつい動かしてしまって、舞台の上で厳しく叱られた事など、今思い出すと師匠の顔が浮かんできます。音色の良さ、手の回る事が浮かんできます。女性にまじって男は私だけ。住若・才綱・猿司・猿公、伊達子・文之助、それに口語りです。まだ素人の会が毎日のようにあった頃の思い出です。

師匠は、朝お風呂に入つてから御飯をあがります。稽古は早い者勝ちで、我々は掃除などして待つて、ひとり二十分位でしたか、稽古して頂きます。日曜以外、毎日でした。ひと稽古は、梯子段の所で聞いているのです。が、猿公さんが泣きながら降りてきたことなど思い出します。猿昇、猿玉、猿司、猿公、

猿女、猿清、猿平（後の六世猿之助）、猿七、猿藏（猿三郎兄の兄さん）、猿喜知（後の猿平）、猿十郎……お弟子は沢山いましたが、ほかにも駒若さん、三生さんがよく稽古に見えていたものです。

戦争が始まり、私は十八年に網島の安立電気というところへ従用にとられ、師匠は十九年に肺炎で死去せられました。お目にかかりませんでした、誠に残念です。

当時、同僚はいっぽうで、同年だけでも四人はいましたが、みんな空襲でやられました。豊澤扇之助という人は、爆撃を避けて避難したところを直撃され、跡に名刺が残つていてわかったそうです。松四郎は防空壕で蒸されました。戦争は生き延びても、肋膜で義太夫をやめ心中してしまった人、熱海でもみ療治になつていた人もあります。今、三味線弾きが少ないのは淋しいです。どうか若い方、一生懸命勉強して下さい。

そうそう、二十代の頃、私がまだ文之助時代でしたが、浅草の東橋亭で、一年ほど伊達子時代の土佐広さんを弾いたことがあります。女性にまじって男は私だけ。住若・才綱・猿司・猿公、伊達子・文之助、それに口語りです。まだ素人の会が毎日のようにあった頃の思い出です。

# 公演企画研修

常務理事 竹本 弥乃 太夫

義太夫協会の研修部門には現在本行、歌舞伎（竹本）、舞踊の三部門がある。そのうち主たる活動は、本行部門であって、歌舞伎部門は男性で、これは独自に竹本協会が作られ、そちらで研修を行っているので、直接義太夫協会とは切り離されている。残る舞踊部門も、協会として何ら活動はしていない。協会公演会は、素淨瑠璃の演奏が主体であるから、相手のいる舞踊を企画するとなると、経済的にも成り立たない。それは歌舞伎部門にも言えることである。まして竹本連中は全員男性であるから、その中の協会会員による歌舞伎の企画研修は、従来の協会公演の在り方では、不可能に近い。そこでまず、これらの問題に関する、仮称『公演企画研修部』の新設を考えたい。なにも経済的にゆとりのない協会の公演会で、歌舞伎や日本舞踊をそのまま出せる訳ではないが、企画によつては、従来ない、協会独自のカラーが打ち出せるのではないか。また会員が、個人的に舞踊の仕事を請け合った場合には、その研修も必然的なものになってくるし、寧ろ協会の立場で、いつでも対応出来るように、窓口を開くことも必要である。

我々の義太夫協会は、国立や、歌舞伎や、文楽等の属かに置かれたり、支配されているのでもない。いろんな義太夫分野の人達の集まりであり、それの束ねでもある。だから、

義太夫協会の研修部門には現在本行、歌舞伎（竹本）、舞踊の三部門がある。そのうち主たる活動は、本行部門であって、歌舞伎部門は男性で、これは独自に竹本協会が作られ、そちらで研修を行っているので、直接義太夫協会とは切り離されている。残る舞踊部門も、協会として何ら活動はしていない。協会公演会は、素淨瑠璃の演奏が主体であるから、相手のいる舞踊を企画するとなると、経済的にも成り立たない。それは歌舞伎部門にも言えることである。まして竹本連中は全員男性であるから、その中の協会会員による歌舞伎の企画研修は、従来の協会公演の在り方では、不可能に近い。そこでまず、これらの問題に関する、仮称『公演企画研修部』の新設を考えたい。なにも経済的にゆとりのない協会の公演会で、歌舞伎や日本舞踊をそのまま出せる訳ではないが、企画によつては、従来ない、協会独自のカラーが打ち出せるのではないか。また会員が、個人的に舞踊の仕事を請け合った場合には、その研修も必然的なものになってくるし、寧ろ協会の立場で、いつでも対応出来るように、窓口を開くことも必要である。

最近、歌舞伎繁栄とは裏腹に、歌舞伎義太夫の質の低下ということがよく言われる。協会の公演企画により、何らかの形で歌舞伎を採り上げて、その研修に力を入れねばならない。これも我々の義太夫協会の仕事なのである。

殆どの男性技芸員が姿を消し、女性技芸員で占められている現況の協会は、毎月の女流義太夫公演がメインであり、番組の編成に公演部は苦労している。内容も本行の素淨瑠璃で、ただその事のみに終始しがちであるが、もっと幅広い企画内容によつて、多彩なユニークな公演を期待したい。勿論そのためには、普段から技芸研修は必要である。

歌舞伎の研修は本行の他に、舞踊地の研修、歌舞伎義太夫の研修も行なわねばならない。歌舞伎義太夫の研修も行なわねばならない筋を重んじた西風とは対照的に、節を重んじた芸風が窺われる。そうして現在まで、一世代を画する為に、常に名手は新風を樹てた。誰々の歌舞伎、誰々の義太夫、ではなくて、歌舞伎の誰々、義太夫の誰々、でなくてはいけない、と伝統を重んじる人は言う。勿論伝統は守らねばならない。古典の伝承が大切なことは言を俟たないが、新しい生命を注ぎ込むことが、新しい時代に活き得ることになる。

そのためには、それぞれの分野での研修が、非常に大事であると痛切に感じている。

て、ただここに大きな壁がある。それは、義太夫はすべて本行で、その研修は文楽人形浄瑠璃がすべてである、という考え方である。一時代前までは、チョボ（竹本）語りになると芸が崩れるといって潔癖に拒否し、或は軽蔑するといった観念があつたし、現にそういう思っている人もいる。そういう習慣はず脱却しなければならない。なぜなら、すくなくとも義太夫節の妙味を広く知らしめるのは、文楽だけではない。若い人から年寄りまで、多くの支持者をもつ歌舞伎の存在である。最近は、猿の助とか玉三郎などのスターの出現で、歌舞伎ブームなどといわれているが、よく考えてみると、伝統にばかり拘泥せず、新しい命を吹き込んだ成果だと思う。流れ派系統に拘わらず、いかなる芸術にも名手さえ出れば繁栄する。

昔、元祖竹本義太夫の義太夫節が、古淨瑠璃に対する新淨瑠璃であり、更に義太夫の門から出た若太夫が、派手な節回しで、師匠の西風に対しても東風を確立し、異端視された。筋を重んじた西風とは対照的に、節を重んじた芸風が窺われる。そうして現在まで、一世代を画する為に、常に名手は新風を樹てた。誰々の歌舞伎、誰々の義太夫、ではなくて、歌舞伎の誰々、義太夫の誰々、でなくてはいけない、と伝統を重んじる人は言う。勿論伝統は守らねばならない。古典の伝承が大切なことは言を俟たないが、新しい生命を注ぎ込むことが、新しい時代に活き得ることになる。

## 第七回 豊澤仙廣賞

### 鶴澤寛八師に

「豊澤仙廣賞」は、豊澤仙廣師（前義太夫協会副会長・もと義太夫節保存会会長）の功績を記念して、河野国声常任相談役の提唱を受けて、昭和61年に創設されました。

平成3年度は、本牧亭時代から永年女流義太夫演奏会に出演しつづけた鶴澤寛八師に決定しました。大阪在住の寛八師は、公演間近になると上京されるのですが、仙廣師健在の頃は、同師宅に泊まることが多く、仙廣師とは特別縁の深い間柄でもありました。

今年初の女流義太夫演奏会で披露し、演奏して頂く予定でしたが、先日転倒され、残念ながら遠出が止められてしましましたので、当時は、寛輔・寛也という二人の愛弟子が三番叟に出演いたします。寛八師は、昨年秋に「大阪芸術賞」を受賞したばかりです。

#### 〔鶴澤寛八 略歴〕

昭和5年 豊澤住太夫に入門、豊澤団秀。

10年 豊澤寛治に入門。

26年 鶴澤寛治に入門、鶴澤寛八となる。

36年 同年 59年 竹本駒之助に入門、  
37年 (故)野澤錦糸に師事。

38年 同年 竹本駒之助の義母・鶴澤三生の幼

56年 57年 59年 61年 63年 63年度人形淨瑠璃因協会賞  
53年 大阪文化祭賞  
55年 重要無形文化財「義太夫節」総合  
指定保持者

61年	社団法人義太夫協会理事
62年	大阪市民表彰(文化功労)
平成2年	義太夫節保存会理事

3年

大阪芸術賞

#### 平成三年度芸團協助成新人奨励賞

#### 鶴澤津賀寿に決定

3月20日、演芸場で祝う会

平成3年度芸團協助成新人奨励賞は、鶴澤津賀寿（竹本駒之助門下）に授与されることに決まりました。女流義太夫の三味線陣不足の昨今、国立演芸場定期公演での精進ぶりが認められたものです。一昨年末の国立劇場主催「明日になう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」

昨年8月の「花組芝居」公演「俊徳丸」参加など幅広く活躍しはじめています。

3月20日、国立演芸場「女流義太夫演奏会」で、師匠である副会長・竹本駒之助のお里、おなじく副会長・竹本朝重の沢市、それに鶴

澤重輝のソレ弾きという豪華メンバーで、壇坂を演奏する予定です。

#### 〔鶴澤津賀寿 略歴〕

昭和58年 義太夫教室第36期受講

同年 竹本駒之助に入門

(故)野澤錦糸に師事。

61年 竹本駒之助の義母・鶴澤三生の幼

名・鶴澤津賀寿を継ぎ「本牧亭」

にて初舞台  
同年 鶴澤重輝の預かり弟子となる。

おめでとうございます

◇沼田貞芳先生 厚木市教育委員会表彰

神奈川県立厚木東高等学校の「人形淨瑠璃部  
ひがし座の顧問・沼田貞芳先生（賛助会員）  
が、10月30日、厚木市教育委員会表彰を受け  
られました。

永年にわたり「ひがし座」の育成に尽力し、

人形芝居の伝承と文化の振興に貢献した功績  
に対するものです。ひがし座OB会の皆さん  
には、昨年7月の女流義太夫演奏会に特別出  
演していただきましたが、その時の人形・大  
道具・小道具などは沼田先生の手作りだった  
そうです。

#### ◇鶴澤寛八師 大阪芸術賞

鶴澤寛八師が（本名上村はま）、大阪の文  
化・芸術の振興に尽くした人に贈られる大阪  
芸術賞受賞、11月3日、大阪文化祭祝典席上  
で贈呈式が行なわれました。

#### 〔女流義太夫の会〕

や、自ら主宰する「鶴  
澤寛八会」等を通じて、義太夫節の伝承と普  
及に努め、特に現代の若者にも支持層を広げ  
ようと、カルチャーセンターやレストラン、  
その他さまざまな場所で演奏や講演を行なうな  
ど、意欲的な活動を行っている。さらに、後  
進の育成にも積極的に力を尽くし、女流義太  
夫の復興と発展に大きく貢献した。

（大阪文化祭祝典プログラムより）

## 女流義太夫共和国あれこれ（五）

事務局長 竹本綾太夫

前号で「女義共和会として再発足した昭和三十五年以前の女義記録がほとんど無いのでなんとかして明きらかにしたい……」と記させていたゞいた関係上、なんとかせんものと少し努力したが、これがさっぱりであった。

先ず本牧亭に当つたが、講談・落語等の附帳などはかなりあつたが、女義については全く見当らなかつた。これは講談が定席で、女義は貸席になるので当然である。それならば本牧亭女義の開設者、故竹本素女師の線でと考へ、川崎の素三郎さんに問合せたが、引越しやその他で記録類は見当らないとの返事。次いで素八さんにお願いしたら、番組類はどうある筈だが今は不明とのこと。がお二人とも極力探してみましよう、とおっしゃつてるので待ち望んでいるところである。その他何人の方にお尋ねしたのだが、記録類はまず皆無で、またお話を伺つても、四十年前のこととて御記憶はまちまちである。

二代目綾之助師が素女師からバトンタッチした昭和二十八年頃は四日間の定席であつたかどうかは不明だが、三十年代に入ると少しが残つていて、これはまさしく四日間の

興行である。たゞ残念乍ら年号・入場料などがはつきりせず空白はそのままである。

この頃は少し視点を変えて、各新聞社資料室の催し欄とか、演劇・邦楽関係雑誌の案内欄などを丹念に目を通すしかないと思つてい。る。早大演劇博物館には何にかかるような気がする。というのは以前に「義太夫関係の番組を集めていた」とかで、共和会の番組五年分位を納め、以後毎月送つた記憶があるので、以前のものがあるかも知れない。

たまたま手許にあつた「義太夫芸能」（義太夫教室創設者の一人豊竹湊太夫師発行の義太夫教室機関誌。編集は若き頃の佐々木幹事と弥乃太夫常務理事など）の創刊号と、若竹会記念号を開いたら、女義に関するかなり興味ある記事にぶつかった。

一つは創刊号（昭和二十五年春）の、当時東京新聞文化部記者であった守美雄氏の「女義今昔ばなし」で、三頁で女義の歴史を分り易くまとめられ、最後に現状を一寸述べておられる。江戸時代の女義・明治に入つてからの初代綾之助・小清・小土佐そして呂昇の人物記、東西の女義定席のこと、そして昭和の

定席の話になる。この辺を抜粋すると「一時途絶えた定席は、昭和十五年頃再び復活した浅草東橋亭が、採算を度外視して、理解ある席主と女義の献身的な協力で綿々として孤畠を守つた（守さんはその頃早大生で、戸部銀作さんなどとよく通つたそうである）が、これも昭和二十年三月焼失、今は総師竹本素女をはじめ、公演の機会にも恵まれず、新たに弟子入する人もなく、最年少で美声で将来を期待された綾若（佳世子）も終戦後死んで、今長い伝統を誇る女義も滅亡の寸前にまで立ち至つてしまつたのである。尚、関西に於いても団司・小仙等は健在だが、もとより定席もなく、時折ラジオに出演するに過ぎないのは、いかにも心淋しい」と結んでおられる。これは重要なことで、この文をお書きになつたせいかどうか、その翌年、素女師と本牧亭さんを結びつける仲人役と、「女流義太夫」命名者になられたのである。

もう一つは、若竹会記念号（昭和二十八年十二月）の竹本綾大夫師・野沢吉二郎師・豊竹湊太夫師による「鼎談」である。義太夫節に関する貴重な話が、三頁に亘つていて、その中で「本牧亭で復活した女義の公演の状況はどうなのか」という質問に、湊太夫師が「初めは一日だったのが、月に二日、三日とのびて、隔月から、毎月五日になって、今では月に四日やっている。この分だとやがて一週間になるだろう」と答えておられる。この時期は、二代目綾之助師が、素女師からまとめ役を引継いだ頃である。

（以下次号）



## 学校巡演

### レポート

#### 都立白鷗高校

の人でありながらものすごい声量で体育館中響きわたり圧倒されそうでした。三味線も普通のものとは異なり、音が重々しく普通のものとは違う音の魅力を感じました。

(2年女子)

平成3年10月24日、都立白鷗高校で学校巡演が行なわれました。内容は、

太棹メドレー「堀川猿廻し・野崎村」で幕開け、「人形教室」と田辺秀雄義太夫協会会长のお話のあと八王子車人形の「日高川」実演、

フィナーレは新車人形による「スペイン舞踊」でした。

同校の音楽選択授業は、三味線の実習を採りいれていることで有名ですが、当日は、全校一斉の鑑賞会でした。千人の生徒さんの素直な手応えがさわやかに感じられる鑑賞会でした。

音楽を選択している生徒さんーということは授業で三味線を弾いている生徒さんーの感想から一部ですが御紹介いたしましょう。

\*三味線の姿勢がよく、私だったらヒヨロヒヨロ動いてしまう棹も動かなく、とても貫禄がある、素直にもっと三味線が上手になりました。

(1年女子)

\*体育館に入り幕があがって音楽(義太夫)が響きだして、ものすごく驚きました。女

\*三味線の軽快なリズムには、心をうきうきさせるような楽しいリズムがあり、いかに何かおこりそうな気にさせる胸さわぎするようなリズムもあり、思わず劇に見入ってしまいました。

(2年男子)

\*三味線はボヨーンという音が多くてどうやつて弾いているのかと思う。弾いている人が上手で右に左に手が素早く動くので驚いた。

(2年女子)

\*なによりもすごいと思ったのは、二人の三味線の息がぴったりとあい、せりふとの間の絶妙さです。このような劇は、三味線ぬきでは成りたたないと思いました。

(2年男子)

\*今、自分が弾いているのでよく見ていましたら、先生のいうとおり、顔は前を向いたままで、何げなくベケベケ弾いているし、バチで勢いよくビートポイントを打っているし、さすがだナアと感心しました。

(1年女子)

\*台にすわって人形の足の部分を足の親指と人さし指にはさんだりして、あらゆる工夫をして人形に命が吹きこまれたようでした。

(2年女子)

\*三味線を意識するというよりは物語に気をとられてしまった。

(2年女子)

\*人形はうしろからうまく操って、人形の顔に本当は現れるはずがない表情が現わされていて、どういうふうにやつたらできるのか不思議でした。悲しい表情、怒りの表情。

(1年男子)

\*最後の洋舞は、人形の動きよりも、あやつっている男の人の足の動きがリズムにのっていて面白かったです。

(1年女子)

\*ストーリーは悲劇的なのに、たまに面白い人をだしたり笑わせたりしてとても素晴らしいと思いました。おひめさまと船頭のやりとりの息づまるせりふのやりとりには、こちらも息がつまりました。そして、クライマックスの鬼になってしまった場面は、とても印象的でした。

(2年男子)

\*スペインの車人形は一番圧倒された。和洋折衷、これこそ今の日本だと考えてしまいました。伝統を守るということが、どんなに大きいことかを知らされた。「見学してそれだけ」じゃ意味がない。認識してその素晴らしさ後世に伝えるべきなのだ。

(2年女子)

\*改めて日本の文化に感心させられました。しかし、日常ではふれる機会がなかなかありません。そして、芸人さん達もやがては年とって死んでいきます。このままいつたまらない、この日本の芸能がなくなってしまいます。それは悲しい現実の問題です、なんとかならないよう後に後世へと受け継がれてほしかった。

(1年男子)

国立演芸場

## 女流義太夫演奏会



## 日曜は昼公演

——初の試み——

日程と時間が一部変更になります。

年月日	曜	開演時間
4年1月21日	火	6時30分
2月21日	金	6時30分
3月20日*	金	6時30分
(春分の日)		

4月以降は、22日が中心に  
\*印 御注意下さい。

4年4月22日	水	6時30分
5月22日	金	6時30分
6月23日*	火	6時30分
7月22日	水	6時30分
8月23日*	日	1時30分
9月22日	火	6時30分
10月22日	木	6時30分
11月22日	日	1時30分
12月22日	火	6時30分
5年1月22日	金	6時30分
2月23日*	火	6時30分
3月23日*	火	6時30分

本牧亭時代、はじめは五時半開演でしたが、仕事のあと駆けつけて下さる方のご要望をいれて、六時開演の時期が長く続きました。

国立演芸場に移った時も、そのまま六時開演としましたが、六時開演でも、なかなか間に合わない方が多く、現平成3年4月より、現行の六時半開演としました。これには、開演

前、「みす内」として若手の勉強の場を保証する意味もありました。人形がつくような月は、準備のため「みす内」はできませんが、「みす内」を楽しみにいらして下さる方も増え、おかげさまでご好評を頂いております。

今年の予定は別表のとおり、日程と時間が一部変更になります。遠来のお客様の御希望をいれて、公演日が日曜にあたった場合は、日曜一時開演とすることにいたしました。どうか末永くよろしくお願い申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、本牧亭から国立演芸場に移って三年目を迎えることができました。どうか末永くよろしくお願い申し上げます。

義太夫というと、「難しそう」とか「お年寄りのものでしょ」と思い込んでいらっしゃる方、本当にそななか、御自分の目と耳で確かめてみませんか？

義太夫協会では、こうした「先入観」を無くしていただければと、一連の普及事業を行なっています。今年も左記の通り計画しておりますので、どうか広く御喧伝下さい。

毎月の女流義太夫演奏会も、初の試みとして、日曜は昼公演を取り入れますし、舞踊や人形など多彩なゲストとの共演により、親しみやすい企画案を練っております。合わせてよろしくお願いいたします。

## 義太夫は難しいって本当？

御自分で確かめてみて下さい

## ◇義太夫の一日体験教室

日時—平成4年5月16日(土)

会場—演舞場スペースアルファ

## ◇三昧線の一日体験教室

日時—平成4年5月24日(日)

会場—演舞場スペースアルファ

## ◇義太夫教室第45期初級入門コース

日時—平成4年6月1日～7月24日

月・金 6時半～8時40分

会場—演舞場スペースアルファ

消息を御存知ありませんか？

### 義太夫教室OBの方々

義太夫教室は、只今第44期生が受講中です。2月29日の「義太夫教室OB演奏会」に向けて毎月曜日、スペース・アルファで稽古に余念がありません。

新同人（昭和47年度・24期以降）だけでもOBは、ナント八七七名にもなっていますが、左記の方々の住所が不明となっておりますので、御存知の方はお知らせ下さい。同窓会組織のようなものを作つたらとか、情報交換の場を設けたらといつた声があがつて久しいのですが、未だ具体化してはおりません。同窓会の世話人候補（自薦でも他薦でも）についてもお知らせ頂ければ幸いです。（名前の後の数字は卒業期 敬称略）

熊谷ユキ（1）千葉貴子（5）磯田貞子（7）山田晴康（7）高橋弘信（24）高橋三隆（24）森下卓雄（24）渡部和夫（24）逢坂裕司（25）岡野敬一（25）立野成子（25）青木康男（26）在原三奈子（26）今井啓子（26）坂戸勝（26）鈴木徳一郎（26）長谷川靖（26）原登美子（26）平賀美智子（26）齊藤裕（27）福井経正（28）松崎勇樹（28）水木紅車（28）泉庸子（28）木下昭子（28）中村晴康（28）山崎徳子（28）池菜穂子（29）北野直子（29）阿部すが子（30）川村和彦（30）小山雅子（30）

田中祥司（30）猪俣文江（31）坂口直一（31）千葉篤（31）舟本文子（31）水木栄与（31）山崎正絵（31）河野誠子（31）木内朋子（33）木村こずえ（33）坂本とり（33）佐藤寛将（33）津野まさい（34）渡部晶子（34）安部淳（35）遠藤武作（35）名生修子（36）若林あい子（36）井田和美（36）金原亭駒之助（36）才目千晶（36）菅原香織（36）竹下敏之（36）野口春美（36）蔽下朋子（36）伊東真裕美（37）川島通雅（37）小泉豊次（37）鈴木房枝（37）玉置万里（37）扶瀬幹生（37）松田真理（37）森下弘美（37）井上美則（38）坂本弓月（38）桑畠八郎（38）郷司美那子（38）鈴木克枝（38）中沢祥子（38）羽山谷（38）横関桂子（38）岸田千鶴（39）清川瑞枝（39）小林恵（39）近藤千賀子（39）矢原千雪（39）山田麻由（39）芦田利子（40）北村佐希子（40）後藤千香子（40）横山由起子（40）佐々田季司（41）永井香（41）大槻善之（42）関容子（42）宮坂通（42）

### 義太夫教室OB演奏会

\* 平成4年2月29日(土) 12時(予定)  
\* 東京都勤労福祉会館(八丁堀下車)  
\* 入場無料  
(開演時間は出演本数により変動します。後日詳報)

■ 計 報

■ 松前 重義氏(顧問)

平成3年8月25日逝去 東海大学総長・松前重義氏は、それこそ数え切れないほどの役職についておられました。が、義太夫協会については、昭和45年社団法人になつた時から、二十年以上にわたり顧問をお引受け下さいました。8月26日密葬、9月25日、東海大学学園葬がいとなされました。義太夫関係で、最後にお見かけしたのは、平成2年1月12日、義太夫協会前副会長・豊澤仙廣師の葬儀の折でした。長い間、本当に有難うございました。

■ 竹本文春太夫師(歌舞伎義太夫)

平成3年9月5日逝去

昭和40年竹本(歌舞伎義太夫)に入り、活躍、竹本の太夫では最長老でした。

■ 恩田 茂氏(賛助会員)

平成3年9月6日逝去

■ 渡辺 兼佐氏(参与)

平成3年10月9日逝去

素義会で長年役員を勤められ、義太夫協会でも参与として御尽力下さいました。義太夫で鍛えた喉でよく相撲甚句を披露されたお姿が目に浮かびます。

■ 宮脇雪むら氏(もと参与)

平成3年11月19日逝去

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 協会の動き

'91年8月より  
'92年1月まで

11月5日	平成4年度芸術文化振興基金助成活動募集に関する説明会
11月12日	定例理事会
11月16日	於東京大学工学部大講堂
8月21日	女流義太夫演奏会「芸団協助成第17回若手勉強会」前年にづく若手自主企画による第二弾
8月22日	新入正会員審査
8月22日	竹本弥栄（竹本弥乃太夫門下・義太夫教室第39期卒）認定
8月22日	於国立劇場
8月22日	公演部会
8月22日	於事務局
8月22日	平成3年度芸術文化振興基金助成金交付内定通知（8月12日付）
8月30日	平成2年度事業報告・決算報告
8月30日	平成3年度事業計画・予算
8月30日	東京都教育厅に提出
9月2日	平成3年度民間芸術等振興費補助金（青少年等芸術普及）交付内定通知
9月9日	義太夫教室中級（三味線コース・語りコース）開講
9月10日	重・綾一・三味線講師・悠美
9月10日	於演舞場スペース・アルファ
9月11日	公演部・国立演舞場打合せ
9月11日	於国立演芸場
9月11日	義太夫節保存会平成3年度国庫補助金交付決定通知（9月9日付）
10月18日	第11期歌舞伎俳優研修生・第11期竹本修生発表会
10月21日	女流義太夫演奏会
10月21日	八王子車人形
10月24日	特別出演
10月24日	学校巡演（1・9頁参照）
10月24日	於白鷗高校
11月20日	第12期竹本研修適正検査
11月20日	於国立劇場
9月21日	教師のための義太夫講習会（文化府と近松）企画・構成・講演－景山正隆
9月25日	芸団協助成金（新人後継者育成・技能向上事業）交付決定通知
9月29日	祖先祭・新入正会員・竹本弥栄の披露を行なった。（13頁参照）
10月8日	公演部・国立演芸場打合せ
10月8日	於回向院
10月15日	公益法人概況調査
10月15日	東京都教育厅に提出
10月18日	平成3年度芸術文化振興基金助成金交付申請書提出
10月18日	於国立演芸場
10月18日	第11期歌舞伎俳優研修生・第11期竹本修生発表会
10月21日	於演舞場スペース・アルファ
10月21日	特別出演
10月24日	学校巡演（1・9頁参照）
11月20日	平成3年民間芸術等振興費補助金（青少年等芸術普及）交付決定通知
11月20日	於国立劇場
11月21日	教師のための義太夫講習会（文化府助成）「近松作品の変遷－遊女について－」企画・構成・講演－竹内道敬
11月21日	一中節特別出演
12月6日	常務理事会
12月6日	於文明堂
12月17日	東京都邦楽連合会
12月17日	於芸団協サロン
12月20日	普及部会
12月20日	於事務局
12月21日	女流義太夫演奏会「心身障害児のための特別公演」（チャリティー）
12月21日	仮名手本忠臣蔵を演奏した。（チャリティーの結果については次号紙上にて御報告致します。御協力、どうも有難うございました。）

## 祖先祭より

去年9月29日(日)、祖先祭が行なわれました。昨年の秋は記録的な長雨続きでしたが、幸いなことに当日は降られずにすみました。義太夫節の祖・竹本義太夫の墓参、本堂での読経のあと、懇親会。愛犬たちペットの供養に訪れる人々が絶えない両回国向院での発言から。(要旨)

## 田辺秀雄会長

本牧亭から演芸場に移り、三味線が足りないとはいうものの、軌道に乗ってきたと思う。ここでしつかりと基盤を築きたい。先輩は若いひとをよく指導し、若いひとは先輩から吸収して、協会を盛りたてて欲しい。

## 吉川英史名誉会長

私は、三味線陣が少ないという協会にとっての危機に目がいってしまう。しかし、歴史的に見ると危機が発展の原動力になっていることが多い。阿国歌舞伎は弾壓され、それがバネになった。豊後節も禁止されて、それで「闇の扉」など名曲が出来た。新しく常磐津界が飛躍した。義太夫協会も、これを踏み台にしてがんばれば、大いに奮う精神が出てくるのではないか、それに期待したい。

義太夫「戻橋」が好評で、今後は演芸場に行こうと思うという便りがとどいている。池田教授はこれもうれしい成果と、義太夫協会に身祝いと成功御礼のしとしてと、十萬円の御寄付を下さいました。

## 河野国声常任相談役

## 〔前号記載漏れ〕

4月27・28・29・30日

5月11・13・14・16日

女流後継者育成事業 道中双六  
研修(野澤喜左衛門師指導)

於築地自治会館

5月12・15日

於築地自治会館

6月4・6・7日

於築地自治会館

私は明治30年生れ、義太夫をお腹の中から聞いていたという、義太夫とは縁の深い男。三・四才で「今ごろは半七さん」と背中で語っていた。古馳さんの義太夫が大好きで、二ヶ月一レコードで二十段、三十段覚えた。大正2年に上京したが、その頃は浅草の東橋亭、茅場町の宮松、本郷の若竹、神保町の南明俱楽部など、義太夫で寄席が成り立っていた。南明俱楽部では随分語ったものだった。皆さんはお顔を見て昔のことが思い出された。義太夫さんのお墓参りが出来て、喜ばしい。

## 〔訂正〕

52号14頁 内田貴子様 郵便番号

(誤)一八七〇(正)一八一

コールドレイク様 住所

(誤)Deparment ⇨ (正)Department

右、お詫びして追加訂正いたします。

## 〔寄贈〕

園田学園女子大学近松研究所様

〔近松研究所紀要〕第二号

中沢 貞子様 三味線・バチ・コマ等一式  
高野 俊雄様 忠臣蔵プログラム・チラシ

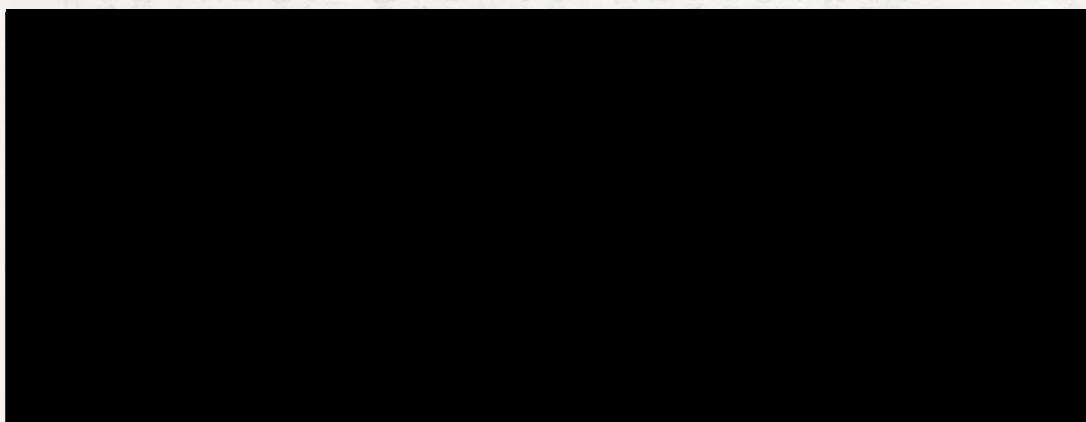
平成4年女流義太夫予定表

印刷一式

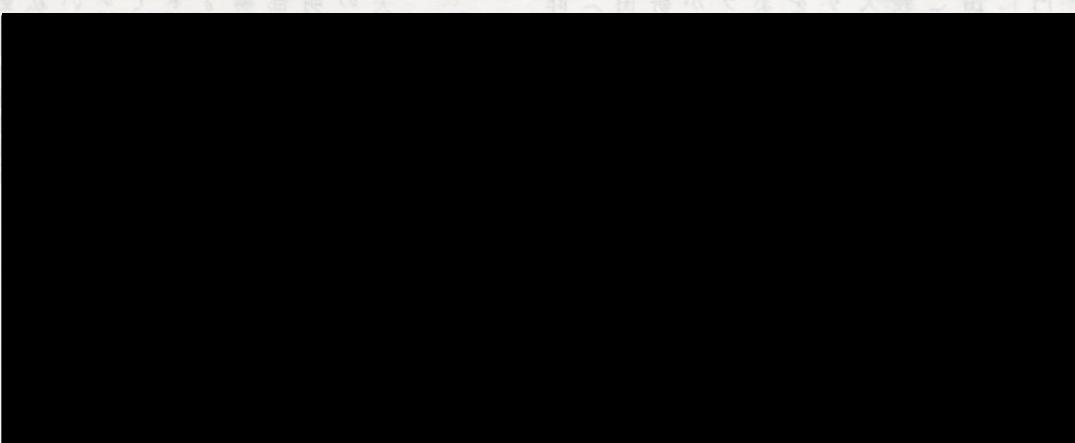
佐々木監事 一二松学舎理事長に

義太夫協会監事・佐々木明郎先生は、昨年9月1日、学校法人二松学舎の理事長に就任されました。益々お忙しい毎日です。

## 新入会員御紹介（五十音順・敬称略）



## 住所（住居表示）等変更



## 〔新刊書御紹介〕

\* 山川直治著「邦楽の世界」  
著書は国立劇場芸能部演出室の山川直治氏。国立劇場の邦楽公演を担当するなかで、多くの研究者、各ジャンルの演奏者と出会うという実践の中から生れた「邦楽全般の入門書」といえましょう。

例えば、「邦楽とは」「淨瑠璃の誕生と普及」「竹本義太夫」「家元制度」等々多くの写真・図版入りで何と百項目。年表、系統図、作品一覧、用語集等々、辞書のような使い方もできる便利な一冊です。

講談社刊（一九〇〇円）

## 編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

新年早々おわびといふか言い訳というか、実はこのベースでいくと、年度内に会報三号発行が心許なく、もしかすると4年度（4月以降）にずれこむことになるかもしれないのです。スマゼン。その分（といふ訳でもないのですが）本号には久しぶりに男性正会員の原稿も数多く登場していますので……。4年度は、役員改選の年です。吉川会長にかわって田辺現会長が就任して、今年6月で満6年。会員名簿も作り直すことになりますので、編集部が忙しくなる予感がします。つきましては、住所・電話番号等変更の場合にお手数でも御一報下さいますよう。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。